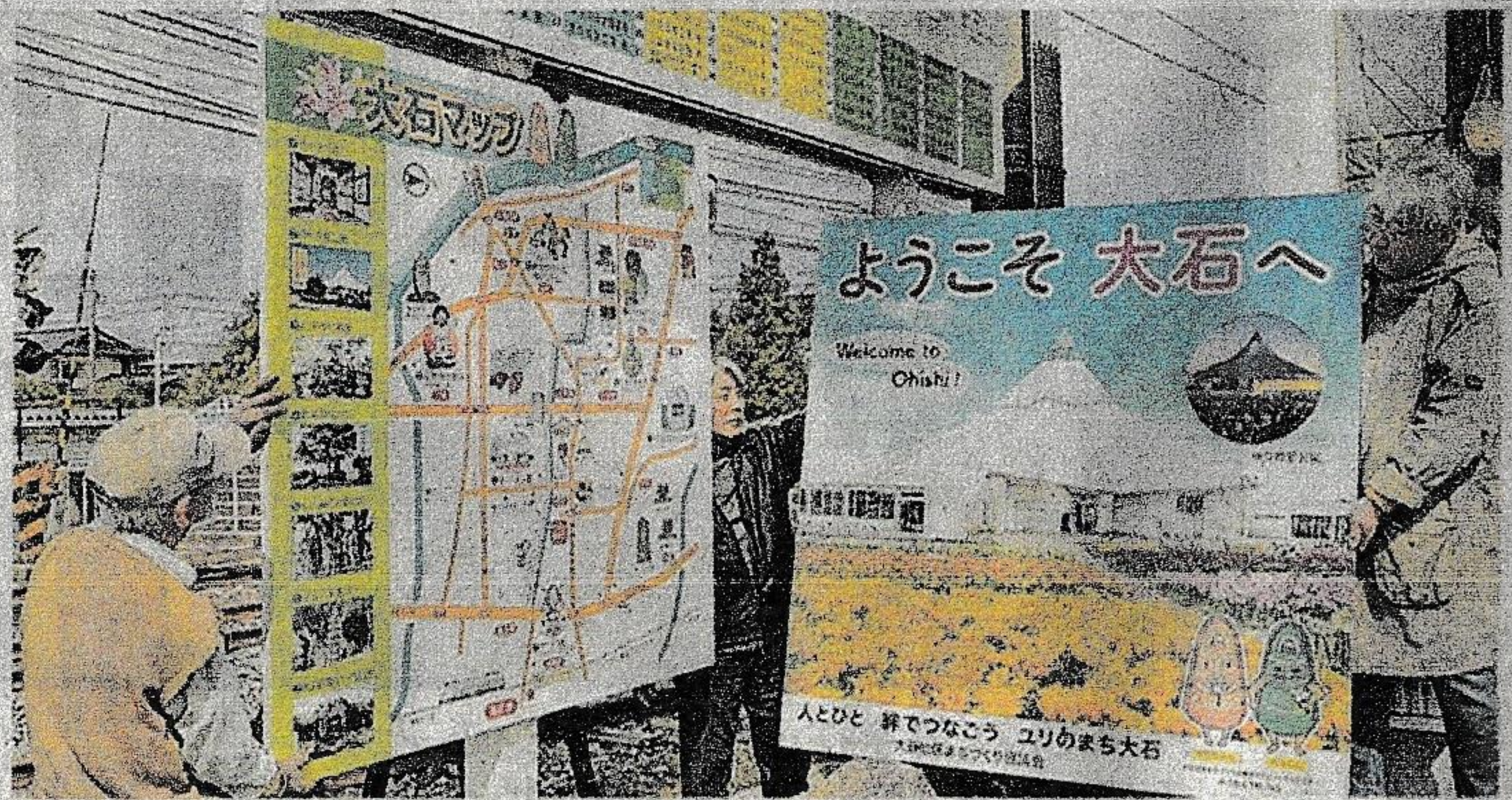


# 大石地区 バーンとPR

## 坂井・まち協 地元えち鉄駅に看板



えちぜん鉄道西長田ゆりの里駅に設置された大石地区をPRする看板＝5日、坂井市春江町の同駅

坂井市春江町の大石地区まちづくり協議会は5日、地区内の名所を紹介する看板2枚（ともに縦横1・5メートル）を、えちぜん鉄道西長田ゆりの里駅に設置した。

北陸新幹線県内開業による観光客増を見据え、乗客や地元住民に魅力を発信する。

線路側は、地区の目印となる「ゆりの里公園」の大

きな写真で「ユリのまち大石」をアピール。

駅舎側は地図で、2021年に協議会が作ったパンフレット「おいしい史跡めぐり」に掲載したものを改良した。災難の前になると油のような汗をかくといわれている「汗かき地蔵」（市指定有形民俗文化財）や樹齢400年以上の紀倍神社「オニヒバ」（県指定天然記念物）など、お薦めの7カ所を写真付きで紹介している。

えちぜん鉄道によると、同駅は通勤通学客ら毎月約6千人が利用する。協議会の河戸明会長（70）は「地域の歴史や名所を知らない住民にも、看板で魅力をアピールしたい」と話した。

（西岡茉愉）